

ながさきCOC+通信

主な活動報告

日付	項目
5月25日	第6回学生と企業との交流会を開催しました。
6月7日	ながさき新卒面談会が長崎市で開催されました。
6月16日	長崎大学生対象のインターンシップ合同企業フェアを開催しました。
6月25日	長崎大学工学部生等を対象とする学生と企業との交流会in工学部を開催しました。
6月29日	大学等と企業の情報交換会を長崎県庁で開催しました。

今後の主な活動予定

日付	項目
7月4日	長崎県立大学佐世保校で合同インターンシップ説明会が開催されます。
7月6日	第7回学生と企業との交流会を開催します。

メントピックス

- **イベント開催報告** 第6回学生と企業の交流会
- **地元で活躍する卒業生からのエールメッセージ**
長崎国際大学人間社会学部国際観光学科卒業 佐々木 美咲さん
- **新聞で見つけたトリビア** 長崎新聞 「養老先生のさかさま人間学」より
- **“いちおし”お食事処紹介**
長崎県立大学学生広報スタッフ 原田 瑞稀さん
- **COC+コーディネーターの独り言** 安徳コーディネーターの投稿です

編集室より：本ニュースレターは、長崎大学、長崎国際大学、長崎県立大学、長崎純心大学、長崎短期大学などが産官学連携により進めている地方創生推進事業（COC+）をさまざまな視点から紹介していくものです。ご意見やご質問はantoku@nagasaki-u.ac.jpまでお寄せください。投稿もお待ちしております。次号の発行は10月1日を予定しています。

「第6回 学生と企業との交流会」を開催しました！

1. 日 時 平成30年5月25日（金） 18:00～20:00
2. 場 所 長崎大学（文教キャンパス） 学生交流プラザ
3. 参加企業 イシマル、ANAテレマート、協和機電工業、チューリッヒ、ディーエスブランド、長崎ケーブルメディア、松藤グループ

上記のとおり「第6回 学生と企業との交流会」を開催しました。25名の学生に参加していただき、今回も身近で楽しく、学生と企業の方と触れ合い、交流していただきました。今回初参加の学生はもちろん、昨年度から続けて参加してくれている学生も、やはり新たな発見があったようです。1年生から積極的に交流会に参加してくれる学生もいて、企業さん達も刺激を受けていたようでした。

今回参加していただいた学生の方はもちろん、次回こそはという学生の方もぜひご参加ください。

以下、アンケート抜粋です。

【学生の感想】

- 大学生のうちにやっておくべきこと、社会人として必要なことなど実際に社会で働いている人から学ぶことができた。
- 今後も参加して自分の将来に対する気持ちを固めていきたい。
- とても充実した時間でした。今後も多くの企業とかかわりが持てたらと思います。
- 企業のベテランの方や新人の方に社会人というものがどのようなものなのかを教えていただくことができ、このような機会はあまりなかったので、新鮮で良かったです。ありがとうございました。
- すごく話しやすかったです。どこもフレンドリーに話してくださいました。

【企業の感想】

- たくさんの学生さんとお話しすることができ、また弊社を知っていただく良い機会となりました。今後もこのような機会を設けていただけたら幸いです。
- 本日は貴重な機会を作っていただき、ありがとうございました。今後とも宜しく願いいたします。
- 大学1年生と交流をする機会がなかったので、話をされていて、こちらが話すスキルを高める必要性を感じました。ありがとうございました。



（会場の風景）



（交流の様子）



（交流の様子）

新聞で見つけたトリビア

地元で活躍する卒業生からのエールメッセージ

私は長崎国際大学を卒業後、昨年の春に九州ひぜん信用金庫へ入庫しました。就職の決め手となったのは「地域社会繁栄への奉仕」という信用金庫の経営理念への共感でした。地元密着、地域に根付いた環境で仕事をする事で、人としても社会人としても成長できるのではないかと思い、10年間過ごしてきた佐世保市に残ることを決めました。



現在、預金窓口担当2年目となり、お客様と直接話をさせていただく機会も増えました。仕事だけではなく、地域のお祭りや商店街のイベント、清掃ボランティア等にも積極的に参加しています。学生生活の中でもサークル活動を通じて、地域の方々にお世話になる機会がありましたが、信用金庫では子供からお年寄りまで、実に幅広い年代の方々と接する機会が多くあります。地域の方々の地元に対する愛や心の温かさに触れ、人として大切なこと、また社会人として必要なことを学ばせていただいています。このような素敵な環境の中で仕事ができることに感謝して、これからも先輩職員のみなさんと共に「地域社会繁栄」のために頑張っていきたいと思いをします。

(長崎国際大学人間社会学部国際観光学科卒業 佐々木 美咲)

新聞で見つけたトリビア

最近の女の子の名前は、名前の最後に「子」が付く子どもが少なくなったそうだ。私自身、仕事上、幼稚園児から大学生までの名前を見る機会が多いが、確かに少なくなったと感じる。私も私の三人の姉たちも、名前の最後に「子」がついていて、子どもの頃、最後に「美」なんてついている友達がいたら羨ましかった。

「バカの壁」でおなじみの養老孟司先生によると、中国の学者孔子、孟子、老子は「子」が付いているが、これは敬称とのこと。それを読んで、私の名前は最初から敬称が入っているんだと笑ってしまった。

また、養老先生は、現代社会はカタカナが多すぎると問いかけている。私もカタカナの用語がわからなくてしょっちゅう検索している。皆さんご存じだと思いますが、これは「新聞で見つけたトリビア（豆知識）」です。トリビア（豆知識）？になってなくてごめんなさい。

長崎新聞 2018.6.26「養老先生のさかさま人間学」より

(長崎純心大学総務課長 岩永 由起子)

長崎県立大学 “いちおし”お食事処

「みのるcafe」

佐世保市権常寺にある「みのるcafe」がオススメです！ランチ（850円）の料理も美味しいですが、ケーキやドリンク（ランチ+300円でデザート・ドリンク）が好きです！特に私のオススメはラテアートです。くまやウサギのかわいいイラストを描いてもらえます！

お誕生日などにはバースデープレートも対応してもらえみたいです。かわいらしい雰囲気なのでぜひ沢山の方に行ってもらいたいです！



【みのるcafe】

住所：佐世保市権常寺1-11-3
TEL：0956-39-5355
店休日：日曜日

(紹介者)

長崎県立大学 経済学部地域政策学科 4年学生広報スタッフ 原田 瑞稀)

COC+コーディネーターの独り言

今年も有田・波佐見陶器市に行き、最近いつも立ち寄る陶芸家長野恵之輔さんの小さなブースで一つ作品を買い求めました。長野さんは長崎大学水産学部を卒業後、教職に就かれ平成5年に波佐見中学校校長を定年退職されました。40歳ごろから陶芸をはじめ、退職金をはたいて窯をつくり、専門陶芸家の道へと踏み出されました。昨年も大きな賞を受賞されています。とてもアンテナの高い方で、好奇心の塊だということは、その作品の多彩さによく表れています。私は自分もこんな華麗な生涯を送れればいいなと、いつもうらやましがっています。

買い求めた平皿は魚一匹一匹に細いナイフの切込みが入っています。飾り皿としても映えるし、お刺身をのせてもしっかり馴染む名品ではないかと思ひ、清水の舞台から飛び降りるつもりで二人の福沢諭吉と泣き別れをしました。陶器市ではこれまでで最も高価な買い物です。今は、私が生きているうちに息子が「なんでも鑑定団」にこの皿を持ち込んでくれることを願っています。なぜ自分自身で持ち込まないか？あのテレビ番組を見られている方には、その理由はおわかりだと思います。

(COC+県北分室コーディネーター 安徳勝憲)

